人穴小 学校だより

ふれあい

令和 4年　1月 6日
富士宮市立人穴小学校
第８号

ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　『自らをきたえ　共に生きる子』

あけましておめでとうございます

３学期が始まり、学校に子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。本年も、子供一人一人の成長を願い、保護者の皆様、地域の皆様と積極的に情報交換をしながら教育活動に取り組んで参ります。昨年同様、人穴小学校の教育活動に、ご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年は「寅年」です。十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているという考え方があるそうです。十二支の１番目、子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年では種の中で育つがまだ伸びることができない。そして３番目の寅年では、春が来て根や茎が生じて成長する、草木が伸び始める状態とされているようです。コロナウイルス感染症で苦労した２年間から、いよいよ新しい時代への成長の年…と期待する気持ちになります。
寅＝虎ですから、動物としての虎のイメージから想起されるものも多いようです。見た目から黄金の毛皮や勇ましい模様と考えられたり、決断や才知の象徴やエネルギッシュな様子にたとえられたりします。寅年はパワーみなぎる神聖な年と考えられているようです。人穴小の子供たち全員が、パワーあふれる１年を過ごせるとすばらしいと思います。

始業式では「虎」にちなんだことわざクイズを行いました。○○に入る言葉を子供たちと一緒に考えました。○の数はひらがなにしたときの文字の数です。

□　**虎の威を借る○○○**
権力や権勢のある人の力をかさに着ている人のたとえ

□　**虎の○を踏む**
この上もなく危険なことのたとえ。本来は「危うきこと虎の○を踏むが如し」

□　**虎に○○○**
もともと強いもの、勢いのあるのもに、さらに強いもの勢いのあるものが加わることのたとえ

□　**虎視○○（こし○○○○）**
相手に隙があればつけ入ってやろうとじっと様子をうかがい、機会をねらっていること。「虎視」は虎が獲物を狙う鋭い目つき。「眈眈」はじっと見下ろすこと

□　**○○○に入らずんば虎子を得ず**
虎の棲む穴に入らなければ貴重な虎の子を得ることができないため、何事も危険を冒さなければ成功を収めることはできないというたとえ

他にもいろいろありそうです。「ことわざにどんな意味があるのだろう」「どうしてそのようなことわざができたのだろう」と、興味を持って調べるのもよい学びになると思います。ご家庭で話題にするのも楽しいかも知れません。